

# 2000誌 に せ ん し

第18号  
発行(社)鹿児島県建築協会  
青年部会  
鹿児島市城山町2-13  
TEL(099)224-5220



青年部会長  
吉満 祐市

先日は  
沢山のこ  
来賓にご  
出席いた

「あーやー」

だきまして、青年部会の「創立10周年記念式典・懇親会」を無事終了することができました。ここに改めて御礼を申し上げます。とりわけ、親会の皆様には殆どの理事役員にご参席いただきまして、誠にありがとうございました。又、青年部会員におきましても節目の行事として大変貴重な経験となったことと思います。

さて、記念式典の中でも少しお話ししましたが、この建築業界の厳しい環境の中、さらに私たちが対応しなければならぬことがすぐそこに迫ってきております。民間工事の低迷や公共事業の減少、入札制度の改変やシステム・法律の改正等、様々な問題や課題にすぐに対処しなければならぬ

りません。これまでの10年より、これからの10年がもっと濃密に成るのには必至であること

でしょう。私共の事業もこれからの10年において、効果があると思われることに積極的に取り組み、失敗や挫折を恐れずにやるのが肝要だと考えます。

おかげさまで、この1年間新しいことも含めて青年部会活動を推進してまいりました。まだ、本年度分で残っている事業もあります。大方終了し多くの青年部会員の知恵や行動で尽力いただきました。例年と多少違うことでも多くのご意見を出していただきながら積極的に取り組んでいただけの姿勢に、大変ありがたく心強く思っております。これからも、時代に応じた事業に積極的に取り組める青年部会として活動していきたいと考えております。青年部会員のますますのご尽力と関係各位のこれまで以上の叱咤激励をお願い申し上げます。(1年目)のご報告いたします。ありがとうございました

## 総務委員会



総務委員長  
南 洋和

総務委員  
会の事業も  
理事の方々  
また委員会  
の皆様にお

けられ、18年度事業を無事に行うことが出来ました。有難うございました。18年度事業と致しましてまず、親会の来賓をお招きして4月に開催しました定時総会及び懇親会、年始に開催しました特別事業の創立10周年記念式典も協会役員・青年部OB・建築関連団体の皆様をお招きしまして盛大に行うことが出来ました。その中で、青年部会10年間の歩みをスクリーン上映し、思い出話に花を咲かせて当時を懐かしんで頂きました。

又、発刊物に関して、まず7月に会員手帳の更新最新版イントラ掲載、7月と3月に『2000誌』原稿寄稿及び協会ホームページ掲載、そして8月と1月には親会発刊による『協会だより』の原稿寄稿・協会ホームページ掲載を行うことが出来ました。

来年度事業は、今年度同様に4月に定時総会を開催し、来年度1月に

は今年特別事業の創立10周年記念式典懇親会があった為、変更になった恒例の親睦ボウリング&新年会を行いたいと考えております。発刊物も今年同様に青年部活動を広く知ってもらうために『2000誌』協会だよりをホームページに掲載していきたいと思っております。最後に、19年度も会員間の更なる交流、広報活動を目標に1年間頑張っていきたいと考えておりますので皆様のご協力をよろしくお願い致します。



平成18年度定時総会  
場所：レクストン鹿児島



青年部会創立10周年記念式典・懇親会

場所：パレスイン鹿児島

会員研修委員会



会員研修委員長  
森田 達朗

年度末、  
年度初め  
と、皆様  
多忙な  
日々をお

過ごしと思います。

さて、延期になっていました『創立10周年記念』を兼ねた研修旅行の日程が決定し、会員の皆様にご案内を差し上げております。

「百聞は一見に如かず」

とは言うものの色々な情報ツールが普及し、また、インターネットが発達し、Google map、Wikipedia、YouTube など動画をはじめ世界中の様々な情報を部屋に居乍らにして瞬時に見たり聞いたり調べたりできる時代です。

もちろん様々な情報を得ることは大切ですが、人間には五感というものがありません。

液晶画面上だけでなく、やはりその場所に行き、その土地の人々と会話し、その土地のものを食べ、自分の目で観、触れその雰囲気やボリューム感を体感し、また、知識構造体はインターネット



経営者講習会

場所：県民交流センター

ットに限定されない思考空間の広がりを持つ」というように第六感といわれるインスピレーションを働かすことも必要ではないでしょうか。誌面をお借りして研修旅行の案内のようになつてしまいましたが、皆様多数のご参加よろしくお願い致します。

活動委員会



活動委員長  
村岡 博文

活動委員  
会の事業  
として昨  
年度まで  
は普通救

命講習、高齢者等奉仕作業を中心として事業を行ってきました。今年度はこれに変わるものとして当初、身障者・高齢者等疑似体験、小学生中学生を対象にした工作教室を計画いたしました。

身障者・高齢者等疑似体験については九月に県民交流センターにて二〇名参加していただき車椅子体験、高齢者の疑似体験、モデル展示場の見学等を実施し、貴重な体験をしました。

もう一つの事業の小学生中学生を対象にした工作教室については、技能祭り等に参加してどのような形で行うのが良いか委員会にて検討してきましたが、結論が出ないまま現在も模索中です。次年度に向けて方向性を定め委員会メンバーの協力を得て何とか実施にこぎつきたいと思っております。





身障者・高齢者等疑似体験事業

場所：県民交流センター

イントラネットアクセス率の向上。会員のITスキルアップの向上を目標に活動してきました。  
鹿児島県建築協会は平成18年4月よりFAXを廃止し、イントラネットへ移行しました。移行についてのメリットとしまして、通信費・紙代の削減・ITスキルアップの向上・会員の情報の共有があげられます。



IT推進室長  
原田 義久

今年度のIT化推進室の活動として、

IT推進室



技能祭りに参加

今現在、イントラネットアクセス率は建築協会・青年部会共7割に達してきました。しかしながら、会員の情報共有につまみまはては書き込みの少なさが目立っています。情報共有の仕掛け作りとしまして、今後このイントラネットのメンバーに納入業者や他業種の方に参加していただき、色々な情報の供給をしていただくシステムを考えています。  
ITスキルアップとしましては、建築業界でのパソコンの使い方方の講習も考えています。本に載っていない、なかなか聞けないパソコン活用方法が聞ける講習内容です。  
鹿児島県建築協会のイントラネットの顧問としまして桃知利男氏にアドバイスを受けてきました。その中で、宮崎・熊本・鹿児島の三県建協合同勉強会に参加し、他県協会の取り組み・事例発表と情報交換をしながら桃知顧問に参加していただき、今後の方針を確認していただいています。  
その中で、今後、発注者団体にもイントラネットに参加していただき情報の共有をしていきます。発注者団体の参加の前に防災協定マップの製作も行います。



副部長  
益田 啓一郎

今、経営者は、体力のあるうちに新規事業を立ち上げる。

「私の選択肢」

私も一言

「経営者は、体力のあるうちに新規事業を立ち上げる。」「社内の余剰人員の雇用機会を作り、新たな収益の柱を育てようとする積極的な経営に挑むが、又、一方今の地方の建設不況をなんとか本業で乗り切り、来るべき時期まで体力を温存するという保守的で堅実な戦略の二つの選択で揺れている方が多いと思う。」



三県建協合同勉強会

場所：宮崎建友会会議室

さて、どちらが正しい選択肢なのか？ というのは愚問だと思う。なぜなら、個人も会社も栄枯盛衰は世の常だから。

私は、上の選択肢の前に経営者としての私個人の能力を測りにかける。

- 1、仕事に対する情熱
- 2、利益に対する執念
- 3、組織をまとめ運営する力
- 4、技術力
- 5、営業力

どれをとっても平均点以下だと考えている。ただ、1、の仕事に対する情熱は特定の分野に限るとまだ想いは強いが…。

ということ、積極的な戦略をとっても、堅実な戦略をとっても経営者として生き残ることは厳しいだろうと常々思っている。

6年前に始めた株式投資が今私のスタンスを大きく変えつつある。それは、経営者という立場にこだわらず、投資家として生きていくことは可能だろうか？という試みである。幸いに、会社の資本・資産は棄損することなく今現在まで健全である。それを運用することに特化していくことを検討している。

まだ、今の段階では業態として経費・利益を上げられないが、私の方向性はだいたい7分がた決まった。将来これで飯が食えるかどうかは神様の知るところで確信などはない。

しかし、何をやるにしても、将来が約束されることは無い。私たちが安全だと思っていることが実は危険だったりすることもよくある話。

奢る平家久しからず、奢らざるもまた久しからず、ただ春の夜の夢の如し、そんな気持ちで淡々と爽やかにこれからの時代をいきたいものだ。

### 新入会員紹介



田上建設(株)  
田上 俊介  
霧島市横川町  
総務委員会



(株)内山組  
内山 吉二  
志布志市志布志町  
活動委員会



平成18年鹿児島県北部豪雨災害復旧ボランティア  
場所：薩摩川内市東郷町



参加者：大坪 祥浩（大成寺工務店）下小野田 慎（国基建設）、玉島 裕一（玉島建設）、永江 信彦（今給黎建設）  
中窪 金一郎（谷山建設）、益田 啓一郎（益田建設）、吉満 祐市（吉満組）